

# 地方都市視察報告書

環境建設委員会

## 1 実施日

平成29年11月14日（火）

## 2 視察地 大阪府大阪市（天王寺公園）

### 【市の概要】

(1) 面積 225.21km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数（平成29年10月1日現在）

人口 2,713,157人

世帯数 1,329,900世帯

(3) 大阪市は、1889年（明治22年）に市制を施行。大阪府、近畿地方および西日本の行政・経済・文化・交通の中心都市であり、市域を中心（首位都市）として、大阪都市圏および京阪神大都市圏が形成されている。大阪市の2014年度の市内総生産は約22兆円で、政令指定都市中最大であり2倍から3倍の人口を擁する北海道や千葉県、兵庫県など1つの道府県の県内総生産を上回る。京阪神大都市圏の圏内総生産は、国内では首都圏に次ぎ、世界的にも上位にある。

また、市内の従業者数、事業所数、上場企業本社数は共に東京都区部に次いで国内2位である。夜間人口は横浜市に次いで全国2位の約270万人、人口密度は全国の市で5位（政令指定都市中で1位）、昼間人口は市外から多くの通勤・通学者が流入するため東京23区に次ぐ約354万人となる。面積は全国に20市ある政令指定都市の中でも川崎市、堺市、さいたま市に次ぎ4番目に小さく東京都区部のおよそ3分の1、横浜市のおよそ半分、名古屋市のおよそ3分の2程度であるが政令指定都市の中では行政区が24区と最大であるため面積が10km<sup>2</sup>に満たない行政区がほとんどである。



## 3 視察項目・内容

(1) 天王寺公園における民間活力導入の取り組みについて

## 4 視察参加者

### 【委員】

ひやま真一委員長      井下田栄一副委員長      小野裕次郎委員

桑原羊平委員      あざみ民栄委員      有馬としろう委員

ふじ川たかし委員      宮坂俊文委員      雨宮武彦委員

### 【随行】

議会事務局議事係      唐澤 一彰      仙崎 雄介

## 5 視察結果・所感

大阪市は、大阪府とともに、世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力を創造・発信するため、平成 24 年に「大阪都市魅力創造戦略」を策定し、天王寺公園（動物園などの公園施設を含む）を核とする「天王寺・阿倍野地区」を重点エリアのひとつに位置づけ、「民が主役、行政はサポート役」との戦略の基本的な考え方のもと、天王寺公園エントランスエリア等への民間活力の導入に取り組み、「てんしば」を整備した。

天王寺公園は、園内には動物園や美術館があり、周辺はターミナルやあべのハルカスなどと隣接し、観光資源が集積している恵まれた立地である。また、てんしばの整備事業者には近鉄不動産株式会社が選定され、天王寺・阿部野地区として、周辺商業施設と一体感ある整備が可能となった。

てんしば整備前の公園は入園料が発生し、施設の老朽化などから集客性の妨げとなっていたが、民間活力導入によるてんしば整備後は、入園料を無料にし、開放感ある芝生の整備、飲食店の誘致、集客性のあるイベントの実施などの取り組みにより、年間の入園者数は若い世代を中心に導入前の約 3 倍近くとなった。また、財政負担の面でも、大阪市は古い公園の撤去費用を負担したのみで、その後の維持管理はすべて民間事業者が負担するという役割分担とし、自治体の財政負担が大きく軽減された。今回の事例は、恵まれた立地条件と、近鉄不動産株式会社という強力なパートナーを得たことによる事例であるが、今後の新宿中央公園の民間活力導入による、魅力ある公園づくりの取り組みに大変参考になった。

## 6 主な質疑項目

- (1) 民間活力導入の取り組みに至った経緯について
- (2) 整備及び運営における大阪市と事業者の役割について
- (3) 民間活力導入後の公園利用者やイベント状況などの効果について
- (4) 近隣の地域住民や商業施設との関わりについて
- (5) 来園者増に伴う公園内での禁止事項（自転車の乗り入れ等）の範囲について
- (6) 来園者増に伴う駐車場や渋滞対策について
- (7) 外国人観光客に対する施策について
- (8) 災害時等における防災機能について

## 7 その他

### 【共同理事者】

みどり土木部みどり公園課長 依田 治朗

